

岡山県 本社移転に関する動向調査（2023 年）

2023 年、1 社の転出超過

転出超過は 4 年ぶり、直近 10 年間では 1 社の転入超過

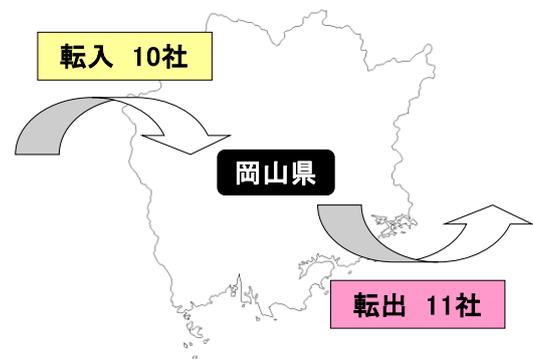
はじめに

コロナ禍を大きな契機として、企業ではテレワーク、Web 会議など多様な働き方の導入が多く、多くの業界で進んだほか、大都市圏をはじめとしてオフィスのあり方、本社機能の地方移転について再考・実践する動きが強まった。2014 年 9 月に制定された「まち・ひと・しごと創生法」を受けて、東京一極集中の是正と地方創生の取り組みが強化されるなか、本社機能の移転に伴う減税措置、補助金などの助成制度が拡充されている。コロナ禍からの回復が進んだ 2023 年において、企業の本社機能の移転状況はどうだったのだろうか。

帝国データバンク岡山支店では自社データベース・企業概要ファイル「COSMOS2」(147 万社収録)をもとに、2023 年および 2014 年～2023 年の 10 年間で本店所在地の「岡山県への転入が判明した企業」や「岡山県からの転出が判明した企業」を抽出し、移転年別、業種別、年商規模別、転入企業の移転元、転出企業の移転先などの分析を行った。

※本社とは、実質的な本社機能のある事業所を指し、商業登記上の本店所在地と異なるケースがある

■岡山県の転入・転出社数(2023 年)



調査結果（要旨）

- 2023 年に岡山県への転入企業 10 社、岡山県からの転出企業 11 社、4 年ぶりの転出超過
 - 岡山県へ転入した企業の移転元、『広島県』『東京都』（各 3 社・構成比 30.0%）が最多
 - 岡山県から転出した企業の移転先、『東京都』（4 社・構成比 36.4%）が最多
 - 業種別、転入は『卸売業』が最多、転出は『建設業』が最も多く
 - 年商規模別、転入は『1 億円～10 億円未満』が最多、転出は『1 億円未満』が最も多く
- 2014 年～2023 年の 10 年間で 1 社の転入超過
 - 「岡山県へ転入した企業」は 142 社、「岡山県から転出した企業」は 141 社
 - 移転年別、「岡山県へ転入した企業」では 2021 年の 20 社が最多。2015 年の 7 社が最少。「岡山県から転出した企業」では 2016 年の 21 社が最多。2015 年、2017 年、2023 年の各 11 社が最少

1. 2023 年は転入 10 社、転出 11 社、4 年ぶりの転出超過

○転入企業の移転元・転出企業の移転先 (都道府県)

2023 年に県外から岡山県へ転入した企業は 10 社あった。『広島県』『東京都』が各 3 社 (構成比 30.0%) で最も多く、『兵庫県』が 2 社 (20.0%)、『香川県』『神奈川県』が各 1 社 (10.0%) で続いた。

一方、2023 年に岡山県から県外へ転出した企業は 11 社あった。『東京都』が 4 社 (構成比 36.4%) で最も多く、『広島県』『愛媛県』が各 2 社 (18.2%)、『鳥取県』『宮崎県』『千葉県』が各 1 社 (9.1%) で続いた。

○業種別

2023 年に県外から岡山県へ転入した企業 10 社について、業種別でみると、『卸売業』が 4 社 (構成比 40.0%) で最も多く、『建設業』が 3 社 (30.0%)、『小売業』が 2 社 (20.0%)、『サービス業』が 1 社 (10.0%) で続いた。『製造業』『運輸・通信業』『不動産業』『その他』はなかった。

一方、2023 年に岡山県から県外へ転出した企業 11 社についてみると、『建設業』が 4 社 (構成比 36.4%) で最も多く、『サービス業』が 3 社 (27.3%)、『小売業』が 2 社 (18.2%)、『製造業』『運輸・通信業』が各 1 社 (9.1%) で続いた。『卸売業』『不動産業』『その他』はなかった。

○年商規模別

2023 年に県外から岡山県へ転入した企業 10 社について、年商規模別でみると、『1 億円～10 億円未満』が 7 社 (構成比 70.0%) で最も多く、『1 億円未満』が 2 社 (20.0%)、『100 億円以上』が 1 社 (10.0%) で続いた。

一方、2023 年に岡山県から県外へ転出した企業 11 社についてみると、『1 億円未満』が 5 社 (構成比 45.5%) で最も多く、『1 億円～10 億円未満』が 3 社 (27.3%)、『10 億円～100 億円未満』が 2 社 (18.2%)、『100 億円以上』が 1 社 (9.1%) で続いた。

■岡山県へ転入した企業の移転元

	都道府県	社数	構成比
1	広島県	3	30.0%
	東京都	3	30.0%
3	兵庫県	2	20.0%
4	香川県	1	10.0%
	神奈川県	1	10.0%
	合計	10	100.0%

■岡山県から転出した企業の移転先

	都道府県	社数	構成比
1	東京都	4	36.4%
2	広島県	2	18.2%
	愛媛県	2	18.2%
4	鳥取県	1	9.1%
	宮崎県	1	9.1%
	千葉県	1	9.1%
	合計	11	100.0%

■転入企業

	業種	社数	構成比
	建設業	3	30.0%
	製造業	0	0.0%
	卸売業	4	40.0%
	小売業	2	20.0%
	運輸・通信業	0	0.0%
	サービス業	1	10.0%
	不動産業	0	0.0%
	その他	0	0.0%
	合計	10	100.0%

■転出企業

	業種	社数	構成比
	建設業	4	36.4%
	製造業	1	9.1%
	卸売業	0	0.0%
	小売業	2	18.2%
	運輸・通信業	1	9.1%
	サービス業	3	27.3%
	不動産業	0	0.0%
	その他	0	0.0%
	合計	11	100.0%

■転入企業

	年商規模	社数	構成比
	1億円未満	2	20.0%
	1億円～10億円未満	7	70.0%
	10億円～100億円未満	0	0.0%
	100億円以上	1	10.0%
	合計	10	100.0%

■転出企業

	年商規模	社数	構成比
	1億円未満	5	45.5%
	1億円～10億円未満	3	27.3%
	10億円～100億円未満	2	18.2%
	100億円以上	1	9.1%
	合計	11	100.0%

※年商規模「1億円未満」には未詳分を含む

2. 2014年～2023年の10年間、1社の転入超過 (転入142社・転出141社)

○県外から岡山県へ転入した企業数

2014年～2023年の10年間で、県外から岡山県へ転入した企業は142社だった。年別で見ると、岡山県に転入した企業が最も多かったのは、2021年の20社。一方、最も少なかったのは2015年の7社だった。

○岡山県から県外へ転出した企業数

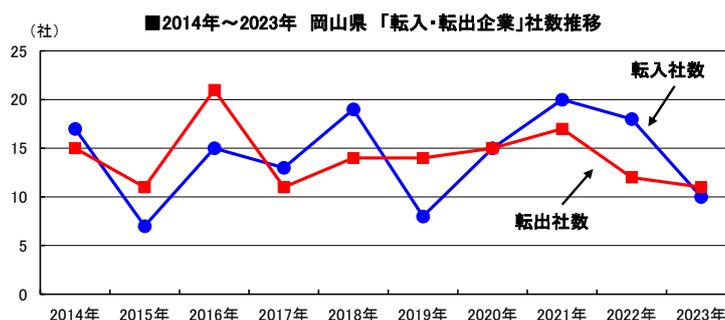
2014年～2023年の10年間で、岡山県から県外へ転出した企業は141社だった。年別で見ると、岡山県から転出した企業が最も多かったのは、2016年の21社。一方、最も少なかったのは2015年、2017年、2023年の各11社だった。

○転入・転出の比較

2014年～2023年の10年間をみると、転入した企業が142社に対し、転出した企業は141社となり、転入社数が転出社数を上回る「転入超過」が1社となった。2014年、2017年、2018年、2021年、2022年の5年間で転入超過となった。

■転入・転出社数の年別推移

判明年	転入社数	転出社数	転入－転出
2014年	17	15	2
2015年	7	11	▲4
2016年	15	21	▲6
2017年	13	11	2
2018年	19	14	5
2019年	8	14	▲6
2020年	15	15	0
2021年	20	17	3
2022年	18	12	6
2023年	10	11	▲1
合計	142	141	1



まとめ

2023年はコロナ禍からポストコロナへ移行し、幅広い経済活動の回復が本格化したなか、岡山県では転入企業が10社だったのに対し、転出企業は11社となり、1社の転出超過となった。2014年～2023年の10年間で見ると、転入が転出を上回る年が多く、1社の転入超過となった。生産年齢人口の減少による人手不足が課題となるなか、テレワーク、Web会議など柔軟な働き方、DXの導入などを通じて有能な人材を維持・確保し、事業体制を強化する動きは今後さらに強まっていくことが予想される。

【問い合わせ先】 株式会社帝国データバンク 岡山支店 担当：内野

TEL：086-224-4681 FAX：086-223-1719

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
 当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。
 著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。